

いきいき子ども！
あたたか家族！
はつらつ先生！
地域が支える
教育の板橋

教育の板橋

学び合う、
学び続ける
人づくり！
地域を創る
教育の板橋

平成29年度

全国学力・学習状況調査結果について

平成29年4月、小学校第6学年と中学校第3学年の児童・生徒を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。区教育委員会では、調査結果の分析を行いました。

問合せ
指導室
☎3579-2643

調査の内容

①教科に関する調査

- ・主として「知識」に関する問題[国語A、算数・数学A]
- ・主として「活用」に関する問題[国語B、算数・数学B]

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童・生徒への質問紙調査
- ・学校への質問紙調査

調査の結果

【教科】

小学校は、全国平均正答率と比較して、国語Bでは上回り、国語A、算数ABは若干下回る結果が出ています。中学校は、全国と比較して国語B、数学Bでは上回り、国語A、数学Aは若干下回る結果が出ています。平成27年度からの3年間の経年変化を見ると、全体的に上昇傾向にあります。[右の表1をご参照ください。]

【児童・生徒の状況】

①基本的な生活習慣

「1日に携帯電話やスマートフォンで通話やインターネットをする時間が3時間以上である」と回答した児童・生徒の割合は、小中学校共に全国や東京都と比較して高い傾向が見られます。テレビやDVDに費やす時間についても同様の傾向が見られます。

②学校以外での学習時間

「普段(月～金曜日)、3時間以上勉強をす

る」と回答した児童・生徒は、小中学校共に全国と比較すると高い傾向が見られます。[右の表2をご参照ください。]

③学力との関係

教科に関する調査結果の平均正答率が高い児童・生徒と児童・生徒質問紙における回答結果との関連が大きい項目は次のとおりです。

- ・普段(月～金曜日)に携帯電話やスマートフォンで通話、携帯ゲーム等をする時間が2時間以下である。
- ・読書が好きである。
- ・家で、自分で計画を立てて勉強したり家庭学習をしたりしている。
- ・家の人と学校での出来事について話をしている。
- ・学校のきまり(規則)を守っている。
- ・授業で扱うノートに、学習のめあてとまとめを書いている。

◆学力の定着・向上に向けた取組

板橋区立小・中学校では、子どもたちの基礎的・基本的な学力の定着と思考力・判断力・表現力等の育成と学びに向かう力の醸成をめざして、「板橋区 授業スタンダード」を全ての小中学校の授業で実施しています。[「教育の板橋」第92号をご参照ください。]

また、教育委員会では、家庭学習の時間について、

- ・小学校で学年×10分間(1年生は20分間)
- ・中学校で70～90分間

を推奨しています。家庭学習の方法や内容の

参考となる「家庭学習の手引き」は、全ての板橋区立小・中学校で配布しています。[左下の表3をご参照ください。]

各学校では、学力により影響を与える読書量や生活リズム、スマートフォンやインターネットを使用する時間等についても引き続き指導してまいります。

◆ご家庭へのお願い

ご家庭で生活リズムを整える大切さ、家庭学習の内容や方法等についてお子様と話し合い、確認する機会をもってくださいますようお願いいたします。

「全国学力・学習状況調査報告書」は、区ホームページに掲載しています。ご参照ください。

表1 平均正答率の比較(板橋区・全国の平均正答率)

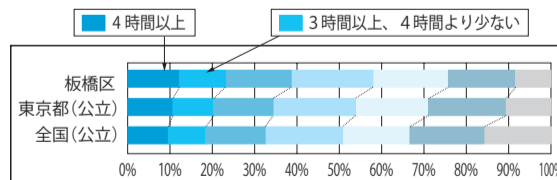
小学校	平均正答率(%)		平成28年度における差	平成27年度における差
	区	差		
国語A	74.1		0.2	0.5
	74.8	-0.7		
国語B	57.7		1.1	-3.3
	57.5	0.2		
算数A	78.3		0.6	-1.1
	78.6	-0.3		
算数B	45.8		1.4	-0.6
	45.9	-0.1		

中学校	平均正答率(%)		平成28年度における差	平成27年度における差
	区	差		
国語A	77.3		0.2	-0.7
	77.4	-0.1		
国語B	72.3		0.3	-0.9
	72.2	0.1		
数学A	63.9		-0.9	-1.5
	64.6	-0.7		
数学B	48.2		-0.6	-1.3
	48.1	0.1		

表2 児童・生徒質問紙の調査結果から

1 携帯電話等やテレビ等への関心

■普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(中学校)



2 学校以外での学習時間

■学校の授業時間以外に、普段(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強をしている時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(小学校)

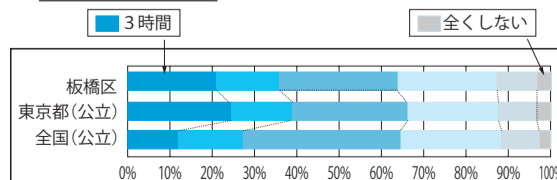


表3

「教育の板橋」～自ら進んで学ぶ子をめざして～
平成29年度版 板橋区立〇〇小学校 家庭学習の手引き(保護者向け):一部抜粋

家庭学習の習慣や方法

(1)習慣化のためのポイント

- ①毎日必ず決められた時間に学習する。(できれば時刻を決めて)
- ②テレビを見ながらしない。
- ③机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。
- ④中学年以上は、「答え合わせ(自分で)」まで

【答え合わせをする意味】

答え合わせは、単に「正解・不正解」を確かめる活動ではありません。「不正解」の問題の「どこが間違っているのか」「どうして間違えたのか」を考えることにより、「自分の理解度」を把握することができます。そして、その後の「正解を考える」「間違わないように練習する」ことが、より「確かな理解・定着」へとつながるのです。

(2)発達段階による家庭学習のめやす

低学年	中学年	高学年
学校の宿題はできる。	学校の宿題は確実にできる。	宿題がなくても計画的に学習ができる。
毎日でも学習しようとする気持ちになる。	宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。	自分の興味や必要性のある自主学習ができる。
少しずつ自分で答え合わせができる。	自分で答え合わせができる。	自分で答え合わせができる。

※自主学習の例は、児童用の「学習の手引き」に掲載しています。

※板橋区立小・中学校校長会作成の「家庭学習の手引き」を基に、用を願っています。